

ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2004年（平成16年）4月25日号 No. 1293

目次

● 2003年のCIS諸国の経済(下)	1
● エトセトラ	10
『調査月報』2004年4月号のご案内／10	
キルギス大使館の開設／10	
ロシア向け製品輸出認証制度セミナー／10	
● ロシア東欧貿易会関連の行事予定	11
● CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	11

2003年のCIS諸国の経済(下)

はじめに

前回に引き続き、CIS統計委員会発表の統計データにもとづき、同諸国の最新の経済情勢についてのレビューを行う。本号では中央アジア諸国（カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン）および南コーカサス諸国（アゼルバイジャン、アルメニア、グルジア）を扱う。

カザフスタン：原油依存を強める経済

カザフスタンの2003年の国内総生産は9.2%増と前年度の9.8%を下回ったが、依然として9%台の高い成長を維持した。外貨準備は、2003年1年間に50%以上増加し、2003年末で49億ドルとなり、2004年も増加傾向は続いている。石油収入等をベースにしたカザフスタン共和国国家基金も倍増に近い伸びを示し、2003年末で36億ドルとなった。政府財政も若干の赤字（2003年はGDP比で1.1%の赤字）で、比較的安定した財政運営を行っている。民間部門の対外債務は増えているが、政府部門の対外債務は、ほとんど増加していない。このような良好な経済状況を受け、ムーディーズ社は2002年9月にCIS諸国のなかで初めて、カザフスタン政府に対して投資適格の格付けを与えた後、2004年4月現在、この格付けを維持している（た